2011年度　精神系　本試験

全て作製は宮岡先生

今まで記述で来てたのに、ほぼ○×でした。

過去問はあるだろうからその部分だけ勉強しないように、幅広く出すと告知

全て復元できたことが奇跡です

**Ⅰ. 山本**

1. せん妄時は意識清明である。
2. オランザピン、クエチアピンは糖尿病患者に禁忌である
3. リスペリドンは定型抗精神病薬である
4. せん妄の治療にはハロペリドールを用いる
5. 統合失調症の障害罹患率は0.1％である
6. 統合失調症は女性の方が若く発症する
7. 統合失調症は認知症の一種である
8. 統合失調症は脳の萎縮がある
9. 統合失調症は3分の1が遺伝である
10. 破瓜型統合失調症は予後がいい
11. リエゾンとは連絡という意味である
12. 妄想は陰性症状である
13. 言葉のサラダは軽度の思路障害である
14. 認知症はせん妄を伴う
15. 悪性症候群は発熱、錐体路症状、自律神経症状を伴う
16. 幻覚幻聴にはドーパミン低活性性
17. 幻聴は統合失調症に特異的
18. アカシジアには抗精神病薬を用いる
19. 急性ジストニアには抗パーキンソン薬を用いる
20. 新鮮せん妄はアルコール離脱症状である

**Ⅱ. 宮地**

1. 神経症は内因性精神障害に分類される
2. 広場恐怖は容易に逃げ出せない状況への恐怖である
3. パニック発作を呈したら直ちにパニック障害と診断される
4. 強迫性傷害は強迫行為と驚愕反応が特徴である
5. 外傷後ストレス障害は、典型的には心的外傷体験よりすぐに発症する
6. 解離性運動障害は失立、失歩が見られる
7. ガンザー症候群は的外れ応答が特徴である
8. 身体的違和感と重篤な疾患に対するとらわれがある場合、心気障害を考える
9. 離人症状は思考の障害である
10. 心身症は外因性の精神障害である

**Ⅲ. 井上**

1. アスペルガー症候群には言語障害が伴う
2. レセルピンはうつ病を引き起こす
3. カルバマゼピンは全般性発作に効く
4. 脳血管性認知症の初期は逸脱行動と人格変化である
5. 自殺者は年間二万人である
6. 周産期にうつ病は起こりやすい
7. 行為心迫はうつ病に起こりやすい
8. MMPIは質問紙法である
9. アンフェタミンは強い耐性がある
10. Broca失語は運動失語である

**Ⅳ.　澤山**

1. 厚生労働省が提唱した健康日本21では多量飲酒者を

1日あたりの純アルコールで平均60g以上摂取する人と定義している

1. ビール500mL（アルコール度数5％）と焼酎200mL（アルコール度数25％）を

摂取した際の合計純アルコール量は約40gである

1. アルコール依存症の離脱症状は、アルコール摂取を減量もしくは中断した時に出現する
2. アルコール離脱症状の予防には、ハロペリドールなどの抗精神病薬が有効である
3. アルコール依存者には節酒ではなく断酒を指導することが適切である
4. 抗酒剤はアルデヒド脱水素酵素（ALDH）の作用を阻害する。そのため少量の飲酒でも体内にアルデヒドが蓄積して、飲酒をしたものは顔面紅潮、発汗、頭痛、頻脈、嘔気などが起こり、それ以上飲酒できなくなる
5. アルコール離脱けいれんの発作型は、強直間代性けいれんが多い
6. アルコール離脱せん妄は、長期の過量飲酒に伴うビタミンB1のけつぼうが原因と考えられている
7. ウェルニッケ脳症では、意識障害、眼球運動障害、作話を認める
8. 飲酒した後に顔が紅くなる人は、アルコール分解能が遅く、急性アルコール中毒になる危険性が高い

**Ⅴ.　高橋恵理**

1. 神経性無食欲症の呈する身体症状、精神症状について

知る事を合計6つ以上書け

1. 神経性無食欲症の診断基準について知る事を書け